

第24回(通算33回)

総会資料

日 時 令和7年6月21日(土)
10:00～11:30

場 所 熊谷コミュニティセンター

1. 開会
2. 理事長あいさつ
3. 議長選出
4. 資格審査
5. 議事録署名人の選出
6. 議事
 - ① 令和6年度事業報告
 - ② 令和6年度決算報告及び監査報告
 - ③ 役員改選案の審議
 - ④ 令和7年度事業計画案の審議
 - ⑤ 令和7年度予算案の審議
7. その他
8. 閉会

.....目 次.....

① はじめに.....	1
② 令和6年度事業報告.....	2
I 法人の運営	
1. 会議等の開催	2
2. 人員の状況.....	2
II 事業の基本的取組み	
3. 基本理念及び運営方針	3
4. 事業所の概要	4
5. 令和6年度重点目標の取り組み	4
III 各事業所の取り組み	
6. 総務部	4
7. CIL事業部	5
8. パ・マル	9
9. AKASU	9
10. LSK	11
11. ピアハウス	13
12. 木もれび	15
③ 令和6年度決算報告(活動計算書・貸借対照表・注記事項等・財産目録・事業別損益の内訳)	18
④ 監査報告	25
⑤ 役員改選案	26
⑥ 組織図	27
⑦ 令和7年度事業計画案	28
I 法人の運営	
1. 目的及び理念	28
2. 運営管理体制	28
3. 協力者等	29
II 現状と課題	
4. 現状と課題	29
III 本年度事業方針	
5. 本年度重点目標	29
6. 総務部	30
7. CIL事業部	30
8. パ・マル	31
9. AKASU	31
10. LSK	32
11. ピアハウス	32
12. 木もれび	33
⑧ 令和7年度活動予算案.....	34

はじめに

理事長 高橋 美香

日頃より私たちの活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

この一年を振り返ると、社会の変化や制度の動向に柔軟に対応しながら、各事業所で行っている活動の意義と必要性を再確認する場面が数多くありました。

中でも、自立に向けて支援をしてきた当事者が一人暮らしを開始したことや、新たに2名の当事者が自立生活を目指すなど、光が見え始めています。

地域で「障害のある当事者が主体となり、地域で自分らしく生活する」ことで、誰もが生きやすい地域へと繋がっていきます。各事業所が様々な事業、活動を通し確かな歩みを続けていると感じております。

一方で、課題も山積しております。

当事者運動の担い手不足や利用者の減少により収入が減少し、赤字に転じました。この状況を打開するために、地代や通信費を含む固定費の見直しや、施設入所者への社会参加を目的に行っております「外出サポート」の利用料の見直しを行い赤字幅の縮小を目指します。

また、弁当事業については令和7年5月末より休止とし、再開に向け見直しを行ってまいります。

結びに今年度も皆さまのお力添えを賜りながら、誰もが安心して地域で暮らせる社会の実現に向け、改めて私たちの理念に立ち返り、未来に向けた道筋を共有し、確かな歩みを進めていきたいと考えております。

皆様の引継ぎのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今回の活動の一助となることを心より祈念いたします。

令和6年度 事業報告

特定非営利活動法人

自立生活センター遊TOピア

I 法人の運営

1. 会議等の開催

(1) 総会

日 時	場 所	出席者数	議 題
[通常] 令和6年6月22日(土)	木もれび	50名 (うち委任状34名)	令和5度事業報告・決算報告 監査報告 令和6年度事業計画案・予算案

(2) 理事会

	日 時	場 所	出席者数	議 題
第1回	令和6年6月19日(水)	法人本部	5名	令和5年度事業報告(案) 総会の開催
第2回	令和7年3月28日(金)	法人本部	5名	令和7年度事業計画(案)及び予算(案) 就業規則の改正(案)

(3) 監査会

日 時	場 所	出席者数	指摘事項
令和6年6月14日(金)	法人本部	監事2名 理事2名	事業報告及び会計諸帳簿の監査

2. 人員の状況

(1) 会員の状況

正会員	85名 (令和6年度納入口数63口)	3名の増
賛助会員	44名 (令和6年度納入口数54口)	9名の増

(2) 利用者の状況

実施部所		実 施 事 業	利用者数		増減
			期首	期末	
法人本部	CIL事業部	自立生活相談	28	24	－4
	パ・マル	障害児(者)生活サポート	52	49	－3
LSK		居宅介護・移動支援	32	34	＋2
AKASUI		生活介護	14	13	－1
		就労継続支援B型	22	23	＋1
ピアハウス		共同生活援助	4	5	＋1
合 計			152	148	－4

(3) 職員の状況

所属事業所		職員数		増減
		期首	期末	
法人本部	総務部・パ・マル	3	2	-1
	協力スタッフ	0	1	+1
	CIL事業部	2	2	±0
	協力スタッフ	1	1	±0
LSK	常勤介助	4	4	±0
	登録ヘルパー	29	25	-4
AKASUI		13	13	±0
ピアハウス		2	2	±0
合計		54	50	-4

※パ・マルは法人本部職員兼務の所長1名。登録ヘルパーが運転手を兼務している。

※ピアハウスは常勤の管理者1名と世話人1名の数。その他、登録ヘルパーが世話人生活支援員を兼務している。

Ⅱ 事業の基本的取組み

3. 基本理念及び運営方針

「熊谷市及び周辺地域の障害者に対して、自立生活と社会参加を支援する事業を実施することにより、障害者の自立生活を普及させ、障害者と健常者が共に生きる社会を実現する。」という法人の目的を実現させるため、本年度も以下の理念に沿いながら活動を行った。

【法人理念】

法人はCILの理念に基づき、障害者を一人の人間としてその存在を認め、障害者がいろいろな人や事柄に関わる中で、自分で選択し、決めたことに責任を負える人生の主体者であることを認め、尊重します。

法人は法人設立の趣旨を堅持し、法人に関わる全ての人仲間であることを認め、障害のあるなしにかかわらず、全ての人々の幸福を追求します。

私たちは、将来に亘り、障害のあるなしに関わらず多様な人達が「一緒にいる」ことができる暮らしやすい社会を目指して行動し続け、その成果を地域に還元することにより社会に貢献します。

4. 事業所の概要

令和7年3月31日 現在

実施事業所	実施事業	定員	現員	所在地	事業所概要		開設年月
					形態	面積(m ²)	
法人本部	CIL事業部	—	24	熊谷市中西 1-1-1	借家	149.94	H21.4
	総務部・障害児(者)生活サポート	—	49				H15.4
L S K	居宅介護・介護保険	—	34	熊谷市円光 1-11-21	持家	455.4	H28.2
AKASUI	生活介護 就労継続支援B型	12 28	13 23				H10.4
ピアハウス	共同生活援助	6	5	熊谷市久保島 1680-1	持家	201.79	H29.1
	短期入所	1	—		借地		
自立体験室	自立体験	1	—	熊谷市中央 1-14	借家	46.20	H27.6
木もれび	法人イベント会場 研修棟、他団体貸出	—	—	熊谷市今井 232-2	持家	132.49	R4.12

※障害児(者)生活サポート事業の現員には外出サポート登録者を含む。

※CIL事業部の現員は自立支援相談者等。

5. 令和6年度重点目標の取り組み

法人内でのコミュニケーションについて、下表のように交流会を実施し、親睦や各事業所の状況の共有などを行った。コロナやインフルエンザなどは社会全般で完全に収束したとは言い難いが、事業所内外での活動も以前に比べ活発に行う事ができた。

各事業所で行っている活動の様子などについては、当法人のHPや各SNSを活用し、随時投稿を行った。SNSなどのデジタルツールを活用することにより、より多くの人に情報を発信することができるため今後も積極的に取り入れていきたい。

日時	場所	内容	参加人数
5月12日(日)	行田市街	古地図を持って江戸の名残を探そう	9
10月6日(日)	群馬県富岡市周辺	富岡製糸場と楽山園 見学の旅	18
1月19日(日)	ROUND1(鴻巣市)	ボウリング遊 TO ピア杯	20

Ⅲ 各事業所の取組み

6. 総務部

(1) 事業概要

法人事務全般、障害児(者)生活サポート事業、木もれびの運営管理等の通常業務の他、以下の事業を実施した。

また、事業所間の連絡と相互理解の促進を図るため、9回の代表者会議を開催し、日常業務の連絡調整等を行った。

その他、埼玉県民間事業者 CO2排出削減設備導入補助金へ応募し、ピアハウスに太陽光発電及び蓄電池を設置した。

今期は、利用者の減少により収入が減少し、赤字に転じた。対応が急務である。

(2) 弁当事業

今年度は法人内への給食の提供を目的として、週1回(毎週木曜日)で中西事務所やAKASUIの利用者及び職員に対して41日で1,280食の昼食を提供した。次年度も引き続き提供を行いながら、事業の展開を検討する。

(3) 障害者週間記念イベント2024

障害当事者の自立への意欲を高めるとともに、地域の人たちの障害者への関心と理解を深めることを目的とし、令和6年12月7日(土)に「人生を読む図書館」を勤労会館にて開催した。

当法人の当事者4名が本(語り手)となり、来場した方を読者[聞き手]とし、対話を通じて気づきや相互理解の促進を図った。参加者32名であった。

7. CIL事業部

(1) 事業概要

「どんなに重い障害があっても地域で生きられる力を養い、障害の有無に関わらず対等に生きるための活動」を目標に活動を行った。

またCIL事業部は、障害当事者が中心となり活動をし、自らの経験を活かし新規での自立生活新規での自立支援、ILP、ピア・カウンセリング講座、カフェWishなど実施することができた。

本年度は、新たに2名の自立希望者の支援を行う事ができた。支援の際にはリーダー一人ひとりが本人と向き合い本人の特性・拘りに向き合いながら行う事ができた。

(2) 目標に対する取り組み

本年度は、障害当事者スタッフ一人一人が総務やLSKのスタッフと積極的に関わり関係を築いていく姿が見受けられた。また個々が立てた目標に対しよくできた事、うまくいかなかったことを考え、なぜうまくいかなかったのか原因の追究に努める姿勢が伺えた。

情報発信についても、滞りなく続けることができ登録者数の増加があった。

自立支援に関しても個々の経験を活かし、自立希望者へのプログラムの提供を行い、自立のサポートを通して関わるスタッフも成長することができた。

しかし3名で行っているため、会議が多く通常の業務や活動への影響があり仕組みのあり方を見直す必要がある。

効率化や個々の知識、経験の向上がさらに必要なため、課題が残る1年となった。

(3) 自立生活相談

24名からの相談があった。新規の相談では60代男性と20代の女性から自立生活に関する相談があった。相談のみならず他事業への連携を図ることができた。

主な相談内容は、家族や介助者との関係、制度について、公共交通機関の利用についてであった。今後も本人の意思を最大限尊重し寄り添えるような相談体制を継続していく。

(4) ピア・カウンセリング事業

① 宿泊型初級講座

令和6年11月29日～30日の一泊二日で実施した。交通の便が悪く不便という課題があるため、当方からくる参加者で足来る手段のない方を対象に送迎を行った。リーダーもあらたに1名加わり3名体制とした。今年度は受講生3名が自分と向き合い、感情や自分自身の障害と向き合うことができた。

② ピア・カウンセリング(個人)

熊谷市障害者相談支援センターからの委託により実施し、相談回数は12回であった。主な相談内容は、自分の障害、人間関係、趣味について、生活や仕事についてであった。今年度は来所の相談が多かった。同日の相談は1名までとしているため、別日に実施するなど工夫を行った。相談者は20代から50代であった。

カウンセリングを通して、自分自身と向き合うことができ、相談者の変化が見受けられた。日に日に自信に満ちていく姿が見られ、カウンセラーもパワーをもらうことができ、ピア・カウンセリングの目的でもある支え合いに繋がった。

ピア・カウンセリングの大きな特徴であり、魅力である障害当事者がカウンセラーを勤めるということを最大限アピールしていきたい。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	6
Zoom	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
訪問	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	3
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

(5) 社会生活力プログラム事業

① 団体自立生活プログラム事業

熊谷市障害者相談支援センターからの委託により、身体・知的障害者対象の自立生活力プログラム事業(社会生活力プログラム事業)を6月7日～10月4日に全6回の日程で行った。

今年度は初めて参加する人にも気軽に参加してもらえるように、プチILPを企画し上里カンターレと上里SAに行き、参加者は2名であった。

最初の入口として楽しい気持ちを感じることが大切なため今後も実施したい。通常のプログラムでは、原則全部の会への参加とした。そのことによりより密に参加者と関わることができ、企画も深くじっくりと計画することができた。

普段の生活の中では、家族の都合に合わせ時間を決められていたり、行きたい所があっても「行きたい」と言えない人も多い。また自分にはできないと思っている人も多く、実際に参加して「外にでることができて楽しかった。」と変化が見えた。また参加者全員が好きなことができるように、参加者1名に対して、リーダー1人が付けるように工夫をした。

今年度は参加者が3名と少なく、魅力のあるプログラム作りと周知の方法を心がけ、より多くの方に参加してもらえるようなプログラムにしたい。

今回のプログラムを通して初めの一步を踏み出すことができ、未来への足掛かりとなった。リーダーとサブリーダーは当法人の障害当事者スタッフが務めたが知識や力不足が多くあり、今後の課題となった。

日時	場所	内容	申込	参加人数
6月7日(金)	上里カンターレ	楽しみを知ろう。	2	2
7月19日(金)	障害福祉会館	ILPとは・計画を立てよう	3	3
8月2日(金)	障害福祉会館	計画を立てよう②・発表しよう	3	3
8月30日(金)	熊谷駅及び豊洲	フィールド・トリップ	3	2
9月17日(金)	熊谷駅及び桶川		-	1
9月20日(金)	市民活動支援センター	振り返り 終了パーティーについて	3	2
10月4日(金)	荒川公民館	買い出し、調理 終了パーティー	5	5

②個人ILP

○Aさん

愛知県で活動している自立生活センターからの紹介を受け昨年度自立支援をスタートした。群馬県在住で現在は家族と同居し、将来は一人暮らしを目指している。

不安の多々あると思うが、自己選択、自己決定、自己責任の元、自分の送りたい生活ややりたいことを思いっきり楽しんでもほしい。

知識の向上とスキルの習得のため、引き続き支援を行う。

実施日	内容
7月15日(月)	SMAの当事者から話を聞こう
7月23日(火)	住宅について
3月17日(月)	重度訪問の時間数について

※SMAは脊髄性筋萎縮症

○Bさん

埼玉県神川町在住で熊谷市での一人暮らしを希望し、支援をスタートさせた。不安の多々あると思うが、自己選択、自己決定、自己責任の元、自分の送りたい生活ややりたいことを思いっきり楽しんでもほしい。

知識の向上とスキルの習得のため、引き続き支援を行う。

実施日	内容
1月27日(月)	今後についての相談、ILPについて

(6)障害者の権利擁護活動事業

大きなものはなく今後も相談に応じて権利擁護活動を行う。

(7)福祉、教育、まちづくりへの啓発・提言事業

①車いすの扱い方講習会

第38回目となる講習会を5月18日(土)に実施した。今回は15名が2グループにわかれ、熊谷駅周辺で街を車いすで歩きながら車いすの基本的な扱い方を学ぶと共に車いすユーザーの目線、立場に立ちバリア状況を調査、体感した。様々な立場に立って物事を考えるための足掛かりとなった。

②啓発イベント「カフェWish」の開催

日時	場所	内容	人数
4月5日(金)	荒川公民館	ゲーム【エッグカーリング】	12
6月21日(金)	木もれび	ゲーム【お絵かき伝達】	19
8月23日(金)	木もれび	昼カフェ	14
10月18日(金)	木もれび	オリジナルグッズ作成【タッセル】	15
12月20日(金)	木もれび	オリジナルグッズ作成【キーホルダー】	15
2月21日(金)	木もれび	オリジナルグッズ作成【レジン】	14

(8) 通信の発行

当法人の活動を会員、行政・立法機関、障害者団体等に周知するため、機関紙「遊TOピア通信」を発行した。

(9)その他

①ニャオざね祭り

10月26日(土)にコミュニティー広場にて販売を行った。

②熊谷市市民活動支援センター

- ・7月10日(水)に販売活動を行った。
- ・3月15日(土)に市民活動団体による交流会&販売に参加した。

③全国自立生活センター協議会

- ・人権委員として、月2回Zoomによる会議に参加した。また、北海道で行われた対面会議に一泊二日で参加した。
- ・関東ブロックの担当者として、ブロック研修の企画、運営を行った。

④講師派遣

6校へ講師として講演会を行い成功に終わった。休み時間にはたくさんの子供たちと話ことができ、理解促進に繋がった。今後もより積極的に講演活動を実施していく。

学校・講演会名	実施日	対象人数	対象者
熊谷市立江南南小学校	7月8日(月)	約46名	4年生
熊谷農業高等学校	10月1日(火)	約23名	3年生
川島市立伊草小学校	10月21日(月)	約20名	4年生
館林市立第七小学校	10月19日(火)	約10名	6年生
熊谷市立桜木小学校	11月28日(木)	約40名	4年生
熊谷市立奈良小学校	3月5日(水)	約48名	4年生

- ・実習生の受け入れ 依頼がなかったため実施なし。

⑤埼玉県立熊谷特別支援学校就労支援アドバイザー

実施日	対象者
7月1日(月)	高等部1年生の生徒、保護者、教員への講演会

⑥研修の実施

(個人企画の実施)

主催者	実施日	内容
赤羽根真由美	10月22日(火)	講演会の開催
蕪木健二	11月1日(金)	上野動物公園

(外部研修)

研修名	日時	参加者	主催
全国セミナー・総会	6月26日(水)	高橋・蕪木、赤羽根	JIL
	6月27日(木)	高橋・蕪木、赤羽根	JIL
全国セミナー	12月10日(火)	高橋・蕪木、赤羽根	JIL
	12月11日(水)	高橋・蕪木、赤羽根	JIL

⑦会議の実施

カフェ会議、ILP会議、ピアカン会議、公共交通機関会議、バリアフリーMAP会議
SNS会議等を多数行った。

(バリアフリー調査隊会合、ステッカー配布)

4/30、5/28、6/25、7/30、8/27、9/24、10/29、11/26

12/24、1/28、2/25、3/25

(熊谷市議会議員交流会の実施)

5月25日(土) 参加者15名(内市議会議員5人)

2月28日(金) 参加者25名(内市議会議員9人)

⑧SNS発信回数

SNS名	発信回数
公式アカウント	10回
YouTube	3回
X	36回
Instagram	30回

⑨熊谷市障害者団体連絡協議会の事務委託

熊谷市障害者団体連絡協議会の事務局を担っている。

8. パ・マル(障害児(者)生活サポート事業)

(1)事業概要

熊谷市、深谷市、鴻巣市在住の障害者を対象に1,339回のサービス提供を行った。外出サポート事業について、施設入所者に対してショッピングや映画鑑賞等の14回の外出支援を行った。

(2)目標に対する取り組み

人員不足の解消を急務としたが、専任職員の退職により、より一層の人手不足となった。現員の利用者からの依頼は受けることが出来た。

9. AKASUI(生活介護・就労継続支援B型)

(1)事業概要

令和6年度は就労継続支援B型事業(以下B型)28名、生活介護事業12名の合計40名定員で事業を行った。実利用人数としてはB型23名、生活13名の36名となった。

全体の総括として依然として通所の難しい精神障害の方の新規依頼が多く、見学や体験から利用につながる例も多い。引き続き精神、発達障害などの情報のアップデートが必要であると感じた。

また本年度も引き続き利用者の方にとって充実した生活が送れるよう日中活動、仕事、相談支援等多角的に支援を行った。

(2)目標に対する取り組み

①生活介護事業

午前中は引き続き全体での内職作業を行い、午後の時間では各利用者のニーズに沿った支援を行った。具体的にはアート作品の制作、散歩、リサイクル活動等を行い、マッサージや音楽療法など外部の先生の力も借りながら事故なく笑顔の多い運営ができた。

②就労継続支援B型事業

令和6年度より新たに地域共同加算を算定し活動を行った。具体例として熊谷市の中小企業新商品開発応援事業に参加し、熊谷市内の2社と共同開発した商品の販売(熊谷縁、熊谷涼)、さいたまセレモニーからの段ボールの回収、通年でおこなっている熊谷市身体障害者福祉会からの委託作業など地域と共同して行う事業を法人HP等で公開し認知度及び工賃アップに努めた。

(3)生活介護事業

- ・内職(町田工業所):主に午前の全体作業として行った。
- ・鍼灸師によるマッサージ等(毎週水、木、金曜日):10時から12時30分で行っている。利用者からの評判も良い。
- ・音楽療法(月1回):1回1時間程度利用者の要望に沿って支援を行った。
- ・アート作品の作成:4月ふらっとconnection、8月ampかわいいサミット
12月障害者作品展への出展を行った。
- ・その他余暇活動:利用者の方の要望に応じて散歩や外出等を行った。

(4)就労継続支援B型事業

①内職作業

- ・箱折り(タカサキパッケージ、はやし物産、フジタカ)計3社
- ・ボールペン組み立て(アズケイジャパン、オクト)計2社
- ・シュリンク外し(シャッフル)

②生産作業

- ・事業所ブランド商品の制作、販売
委託販売先(おにっこハウス:熊谷市、おかしやマーブル:さいたま市
カールヴァン:熊谷市、ぶらっと行田:行田市)計4か所
- ・熊谷縁、涼の制作

③印刷

- ・近隣の団体や自治会等の印刷物の印刷、製本を行った。

④リサイクル

- ・月2回さいたまセレモニーより段ボールの回収を行った。またアルミ缶の回収も行い永田紙業への搬入を行った。

⑤施設外委託作業

- ・熊谷市役所売店管理業務(1名)
- ・熊谷市立障害福祉会館清掃委託業務(1名)

(5)共通の行事、活動

①避難訓練

9月に放水、避難訓練、3月に総合訓練を行った。

②施設会議

毎月最終月曜に会議を行った。(開催回数12回)

③開所日

休日に開催される販売イベントなどに参加した。

10. LSK (居宅介護・移動支援・介護保険)

(1) 事業概要

CIL理念を大切に、CIL事業部と介助派遣の連携を図り、部門間を超え役割分担し、中西の事務所にて、共同で各種事業を行った。

(2) 目標に対する取り組み

① 自立支援希望者の支援

将来的に自立生活を希望する当事者への支援をCIL事業部と協力して行っている。

(女性)

- ・Aさん…個人ILPと並行して、昨年3月よりご自宅へ少しずつ入り始め、5月より重度訪問介護で日常的に介助に入っている。熊谷で住居も決まり、来年秋より、一人暮らしを始める予定。

(男性)

- ・Bさん…男性コーディネーターサポートのもと、秋から一人暮らしに向けて準備をはじめ、2月より、一人暮らしを始めた。
- ・Cさん…2月より、個人ILPがスタート、来年12月ごろに自立生活希望

② チーム制の導入

当事者の入院や職員の退職や減少により、女性のコーディネートに関しては、常勤が1名のため、チーム制を導入することができなくなり、グループホームとLSKのシフトを、グループホームの管理者と一緒に作成、共有、連携し、連絡調整にあたっている。

重度の障害のもつ男性当事者に関して、男性二人体制でコーディネートを行い、他機関との細やかな連携と緊急時対応に努めた。

(3) 提供サービス及び利用状況

どんなに障害が重くても、地域で当たり前暮らし、その人らしい生き方ができるよう、遊 TO ピアの理念を大切に下記の介助派遣を実施した。

障害福祉サービス 居宅介護 重度訪問介護 移動支援

(4) 職員体制

以下の職員体制で、サービス提供を行った。

管理者 1名、 コーディネーター 男性3名 女性1名(管理者兼務)

事務1名(管理者兼務) 登録:25名

(5) 研修

① 内部研修

○ 重度訪問介護研修

- ・6/3(土)開講1名
- ・11/27開講1名
- ・3/17開講2名(1名辞退)

○ 初任者研修

- ・12/3(月) 1名

- 現任者研修
 - ・他の CIL 訪問
 - ・9/12(木)…CIL いろは 11名
 - ・10/3(木)…CIL ほにゃら 12名
- 救命講習 I
 - ・5/25(土)消防本部:2名

②虐待防止研修

県社協配信 令和6年度虐待防止研修(障害)～事例から学ぶ社会福祉施設の虐待防止～
 10/21(月)13:00～16:30
 場所:コミュニティセンター 参加者:12名
 オンライン視聴10名

③感染対策

- 法人研修報告会として9/28(月)13:30～16:00
 場所:コミュニティセンター
- 現在の感染症対策・防護服の着脱ゾーニングについて
 オンライン視聴3月…手指衛生・個人防護具の着脱手順 11名
 小川赤十字病院 志村 和美

④外部研修

- 6/25(火)～6/27(木) JIL 主催全国セミナー オンライン参加2名
 映画「大空へ羽ばたこう」上映／上州プロジェクト知的障害の方へ重度訪問での支援
 「町で生きる、町が変わる」ほにゃら／CIL ピンチを救え～当事者不足への取り組み等
- 3/7(金) TIL 支給決定の地域間格差 オンライン参加1名

⑤その他

3/24(月)紙おむつの当て方研修:男性常勤

(6)会議等

①連絡調整会議

中西事務所にて活動する各種事業や各種研修の進行状況の共有 計2回
 5/24(金) 8/26(月)

②ILP会議

CIL事業部の事業・自立生活プログラム講座とピア・カウンセリング講座のサポート(計10回)
 4/11(金) 4/23(火) 5/22(水) 6/17(火) 7/16(火) 8/20(火) 9/10(火)
 10/1(火) 10/22(火) 11/12(火)

③ILP講座(全5回)

7/19(金) 8/2(金) 8/30(金)、9/17(火)フィールドトリップ 9/20(金) 10/4(金)
 *ILP 外出イベントの下見 5/31(金)
 *プチ ILP 6/7(金)

④ピア・カウンセリング集中講座

11/29(金)～11/30(土)

⑤重度訪問介護研修担当者会議

4月に研修開催、その後問い合わせなく、会議開催なし。

⑥現任者研修担当者会議(計12回)

7/3(水)今年度の計画 開催月と内容決定

8/7(水)訪問日、依頼文、質問事項

9/5(木)9/12 訪問について 参加者人数・行程確認

10/1(水) 10/3訪問について 参加者人数・行程確認

⑦虐待防止・感染対策研修会議

6/19(水)…今年度の研修計画

7/29(月)…9/18 タイムスケジュール・役割分担決め

8/26(月)…10/21研修内容検討

10/10(木)…10/21タイムスケジュール・役割分担決め

(7)ひやりはっと・事故報告

①6/26(水)入浴中、緊急地震速報(試験放送)がなり、介助者を呼ぶが、すぐ来ず、不安な思いをさせた。声掛けを忘れてしまい、外へ洗濯物を干しにでていた。

②7/2(火)寝過ごして遅刻

③12/23(月)移乗時アームサポートをつかみ損ない転倒→動作の確認不足と声掛け確認

11. ピアハウス(共同生活援助・短期入所)

(1)事業概要

全体として、感染症が蔓延することなく入居者が健康に過ごすことができた一年だった。

8月から新規で1名入居され、入居者一人ひとりが環境の変化に慣れることができるように配慮を行った。

令和6年度は久保島第一自治会の理事を一年間務めた。自治会運動・行事等に積極的に参加し関わったことにより、自治会役員や近隣住民の方々と多く交流を図ることができた。

(2)共通の行事、活動

①防災訓練

・消防訓練(一部)9/14(土)通報、避難、消火訓練

・消防訓練(総合)3/15(土)通報、避難、消火訓練 中央防災立ち合い

・＜水防法＞要配慮者利用施設避難訓練 9/14(土)共通訓練、選択訓練(初動訓練等)

②施設会議

ホーム会議、個別支援計画作成会議を行った。(開催回数8回)

③大里地域自立支援協議会・生活部会

- ・7/10(水)花笑之工房見学会
- ・8/7(水)定例会(江南愛の家)
- ・10/30(水)強度行動障害者を地域で支える検討会(熊谷市商工会館)
- ・11/29(金)定例会(障害福祉会館)

④余暇支援

- ・4/27(土)いちご狩り
- ・5/25(土)バーベキュー(木もれび)
- ・7/21(日)うちわ祭り見物
- ・9/5(木)手持ち花火会
- ・9/14(土)買い物支援(スマーク伊勢崎)
- ・10/6(日)遊 TO ピア交流会(群馬・富岡)
- ・12/21(土)クリスマス会
- ・1/9(日)遊 TO ピア交流会(ボーリング大会)

(3)研修

開催月日	研修内容	主催者	場所他	参加者
7/3(水)	感染症対策研修 (食中毒の予防)	ピアハウス	ピアハウス	5名
9/23(月)	感染症対策研修	自立生活センター 遊 TO ピア	熊谷コミュニティ センター	3名
9/30(月)	発達障害セミナー	埼玉県発達障害 者支援センター	WEB	1名
10月	虐待防止研修	埼玉県社会福祉 協議会	WEB	4名
10/11(金)	第二回生活部会 精神障害の方に伴走する支援 ～基本のキ～	大里地域自立 支援協議会 生活部会	熊谷市緑化 センター	3名
12/9(月)	埼玉県障害者 グループホーム職員研修 (虐待防止のための研修)	埼玉県	熊谷市勤労会館	2名
2/12(水)	第三回生活部会 行動障害の基本について	大里地域自立支 援協議会 生活部会	熊谷市商工会館	2名
3月	感染症対策研修	自立生活センター 遊 TO ピア	WEB	5名

(4)ヒヤリ・ハット・事故報告状況

①ヒヤリ・ハット

月日	場所	状況	対応
5/25(土)	木もれび	10:15頃 利用者が指に切創を負う。 調理中、缶詰開封時に蓋で 切る。	圧迫止血を行い、絆創膏で処置。 作業前に注意事項を周知し、作業時の 危険予測や見守りを行っていく。

(5) 短期入所事業

令和6年度は新規契約者が4名。季節的な増減の傾向があるものの、全体として利用率は増加した。

【月別短期入所実績表】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数	8	6	7	4	3	4	4	4	5	4	3	7
利用日数	18	19	16	13	10	14	11	18	15	11	10	20
利用率(%)	60	61	53	42	32	46	35	60	48	35	36	65

平均利用率 48%

12. 木もれび

(1) 概要

木もれびの本年度の施設利用については、常連の団体や個人の利用が主となり、新たな一般の利用団体は増加したが、利用者数は増加しなかった。但し、法人関係の利用は増加した。

また、新たな利用団体の増加に伴い、新たな課題も発生し、その都度必要な措置をとって、適切に対応することができた。

施設の管理運営については、昨年に引き続き竹中氏と共同で当たっており、竹中氏ご夫妻からは有益な助言と多大なご協力、実費負担もいただいている。

(2) 維持管理

施設設備等の維持管理の主な内容については、下記のとおり実施した。

年月日	実施項目	説明	窓ガラス 掃除(注)	備考
令和6年 4月	ピアノ調律、薪置き場整備		○	(いずれも竹中氏のご負担)
6	空調モード切替		○	暖房から冷房へ
7				
8	打合せ会議	①	○	運営上の課題につき竹中氏と本部の協議
9	庭木の一部に名札を付ける		○	(竹中氏のご負担)
10	空調モード切替 返却時点検票作成・実施	②	○	冷房から暖房へ
11			○	
12	法人用灯油缶設置 加湿器稼働、浄化槽点検	③	○	
令和7年1月	浄化槽高圧洗浄 電気ブレーカ遮断 ファンヒーター新品取替	④ ⑤	○	過負荷による遮断。 従来品の故障による(竹中氏のご負担)
2	電気設備点検 電気ヒーターを導入	⑥ ⑦	○	家庭用 700w を2台
3	浄化槽点検 樹木伐採	⑧	○	(負担は竹中氏と折半)

(説明)

- ① 主な課題は、「宗教色のある団体の利用」、「施設利用後の管理上の課題」等。
- ② 主に管理者不在時の利用団体について、点検項目を示して自主点検をお願いした。
- ③ 暖房時の灯油の利用について、受益者負担の原則に基づき設定した。
- ④ 暖房温度の設定、調理時の電気釜の稼働等が重なった時の電力使用量の増加が原因。

- ⑤ 電気ブレーカ遮断時に、使用していた石油ファンヒーターが故障した。
- ⑥ 電気ブレーカ遮断を受けて、建物を建設した業者により状況を確認し、助言を得た。
- ⑦ 少人数、短時間の利用の際、即応する目的で導入した。
- ⑧ 庭の樹木の育ち過ぎや、落ち葉等に対する隣家からの苦情等もあり、竹中氏の発案により樹木の一部(約20本)の枝おろしと伐採を行なう。日差しが多く入るようになった。

(注) 窓ガラス掃除は、本年も引き続きボランティア(1名)により実施していただいている。なお、その謝礼等は、竹中氏によりご配慮いただいている他、竹中氏からは庭の除草、樹木や植木、花壇等の手入れ、消耗品の補充、掃除など日常的なご協力もいただいている。

(3) 利用実績

①地域団体等の利用 下表のとおり。

利用団体等	参加者概数	年間利用回数	備 考
にりん舎	5～6名	4回	引きこもり支援団体
ミルフィーユ	3～4	8	器楽アンサンブルグループ
かおるコール	15	9	コーラスグループ
ハンドベル演奏	5～8	11	ハンドベルグループ
ザ・クンパクンパ	5～6	1	軽音楽グループ
研修交流会	10	1	成年後見人有志
絵手紙作り	5～8	8	絵手紙作り講習会
ゆりかごピザパーティー	15	1	NPO 法人ゆりかご主催
バースカフェ	25	1	ナチュラールスクールランチアクション主催
ギターアンサンブル	4	1	地元グループ
ピザ食事会	4～5	2	地元グループ
ピアノ練習者	1～2	5	(個人)

利用団体は、前年度より4団体増加した。

②展示会・演奏会等 下表のとおり。

開催内容	来場者概数	開催月	開催期間	備 考
木もれび開設10周年記念コンサート	40名	4月	1日	木もれび主催。さくらんぼマンドリンアンサンブルの演奏
ザ・クンパクンパ演奏会	19	5	1	軽音楽グループ
ギターコンサート	20	10	1	地元グループ主催
ギターでうたおう	30	12	1	なみきギター教室発表会
陶芸作品展	50	3	2	地域の陶芸教室作品展

木もれびは、2014年(平成26年)4月に開設され、本年で満10周年を迎えたが、これを記念して竹中氏の全面的なご尽力により開催された。

③地元自治会等の利用 下表のとおり。

行 事 等	参加者概数	開催月	備 考
納涼祭	9名	8月	納涼祭及び地域の祭りの準備
忘年会	10	12	
新年会	12	1	

例年実施している地元「遠西自治会」の行事として、本年も開催した。

④法人関係行事等の開催 下表のとおり。

行 事 等	参加者概数	年間開催数	備 考
カフェWish	各回14～19名	5回	CIL事業部主催
フードF(注)	1～2	41	弁当の調理
フードF試作研修	5	1	5月。弁当の試作と試食
ピアハウスバーベキュー	6	1	5月。ピアハウス主催
第23回総会	約25	1	6月

(注) 「フードF」の名称は、弁当事業を担当する職員等が使用しているもので、ここでは便宜上、弁当事業を表す名称として使用した。

活動計算書

令和 6年 4月 1日 から令和 7年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人 自立生活センター遊TOピア
(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	126,000		
賛助会員受取会費	54,000	180,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	11,000	11,000	
3. 受取助成金等			
受取地方公共団体助成金	705,206	705,206	
4. 事業収益			
売上高	148,708,893	148,708,893	
5. その他収益			
受取利息	39,589		
雑収益	1,025,942	1,065,531	
経常収益計			150,670,630
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	61,894,650		
法定福利費	10,446,062		
通勤費	2,120,755		
福利厚生費	1,733,809		
人件費計	76,195,276		
(2) その他経費			
業務委託費	45,044,715		
その他経費計	45,044,715		
事業費計		121,239,991	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	8,798,369		
法定福利費	1,385,074		
人件費計	10,183,443		
(2) その他経費			
旅費交通費	656,806		
車両費	3,157,773		
通信運搬費	1,818,230		
消耗品費	1,423,432		
修繕費	3,005,221		
水道光熱費	2,099,223		
地代家賃	5,138,440		
減価償却費	8,118,377		
諸会費	63,000		
租税公課	305,850		
支払手数料	493,944		
支払利息	48,545		
新聞図書費	47,400		
雑費	38,620		
その他経費計	26,414,861		

科 目	金 額		
管理費計		36,598,304	
経常費用計			157,838,295
当期計上増減額			△ 7,167,665
Ⅲ 経常外収益			
1. その他経常外収益			
設備導入補助金	4,000,000	4,000,000	
経常外収益計			4,000,000
Ⅳ 経常外費用			
1. 固定資産除・売却損			
固定資産圧縮損	4,000,000	4,000,000	
2. 過年度損益修正損			
過年度損益修正損			
経常外費用計			4,000,000
税引前当期正味財産増減額			△ 7,167,665
当期正味財産増減額			△ 7,167,665
前期繰越正味財産額			187,408,165
次期繰越正味財産			180,240,500

貸借対照表

令和 7年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 自立生活センター遊TOピア
(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	66,667,177		
未収金	22,772,694		
前払費用	367,500		
流動資産合計		89,807,371	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物	72,358,385		
構築物	2,000,722		
車両運搬具	2,570,807		
什器備品	5,204,724		
土地	27,483,225		
減価償却引当預金	8,546,578		
有形固定資産計	118,164,441		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
敷金	720,000		
差入保証金	44,760		
投資その他の資産計	764,760		
固定資産合計		118,929,201	
資産合計			208,736,572
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	12,379,226		
預り金	327,846		
流動負債合計		12,707,072	
2. 固定負債			
長期借入金	15,789,000		
固定負債合計		15,789,000	
負債合計			28,496,072
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		187,408,165	
当期正味財産増減額		△ 7,167,665	
正味財産合計			180,240,500
負債及び正味財産合計			208,736,572

財務諸表の注記

特定非営利活動法人 自立生活センター遊T〇ピア

令和7年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定率法、定額法

【固定資産の増減内訳】

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
建物	68,482,901			68,482,901	4,103,246	64,379,655
建物附属設備	9,210,432			9,210,432	1,231,702	7,978,730
構築物	2,289,173			2,289,173	288,451	2,000,722
車両及び運搬具	3,946,000			3,946,000	1,375,193	2,570,807
器具及び備品	1,524,509	4,800,000		6,324,509	1,119,785	5,204,724
土地	27,483,225			27,483,225		27,483,225
合計	112,936,240	4,800,000	117,736,240	117,736,240	8,118,377	109,617,863

【借入金の増減内訳】

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	18,897,000		3,108,000	15,789,000

【事業別損益の内訳】

別紙の通り

【役員及びその近親者との取引の内容】

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、役員及び近親者等との取引
—	—	—	—

令和5年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

令和 7 年 3 月 31 日 現 在

特定非営利活動法人
自立生活センター遊TOピア

科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高(事業所合計)	728,325	
普通預金			
埼玉りそな銀行	熊谷支店(法人本部)	3,149,924	
ゆうちょ銀行	長野貯金事務センター(法人本部)	1,914,645	
埼玉りそな銀行	熊谷支店(AKASUI)	4,454,548	
埼玉りそな銀行	熊谷支店(LSK)	41,053,070	
群馬銀行	熊谷支店(LSK)	13,760,480	
埼玉りそな銀行	(ピアハウス)	1,606,185	
未収金			
	熊谷市他(AKASUI 訓練等給付)	3,926,216	
	利用者他(AKASUI 訓練等給付)	14,075	
	熊谷市他(AKASUI 介護給付費)	3,727,200	
	熊谷市他(LSK 居宅介護)	12,248,615	
	利用者他(LSK 居宅介護)	48,627	
	外出サポート料(法人本部)	30,000	
	生活サポート料(法人本部)	243,250	
	熊谷市他(ピアハウス 訓練等給付費)	1,583,805	
	利用者他(ピアハウス 給付費、実費)	697,450	
	その他	253,456	
前払費用			
	岩田駐車場代 他(AKASUI)	63,000	
	甲田家賃(LSK)	185,000	
	秩父鉄道駐車場家賃(LSK)	49,500	
	木村家賃(ピアハウス)	70,000	
流動資産合計			89,807,371
2 固定資産			
建物及び造作			
	LSK内装工事	16,944	
	AKASUI建物、改修工事	39,266,786	
	AKASUI物置	1	
	ピアハウス建物	22,039,649	
	木もれび建物	3,056,275	
建物付属設備			
	AKASUI設備	72,259	
	ピアハウス電気水道設備	6,173,072	
	床・トイレ改修工事(中央1-14)	187,550	
	空調設備(AKASUI)	439,169	
	照明設備(AKASUI)	607,198	
	防火設備(AKASUI)	499,482	
構築物			
	AKASUI屋外外構工事	436,329	
	ピアハウス門扉工事	1,164,744	
	ピアハウス敷地工事(砂利敷き代)	399,649	
車輛運搬具			
	2号車(ハイエースバン)	1	
	4号車(キャラバン)	1	
	6号車(セレナ)	1	
	7号車(ハイゼットスローパー)	1	
	8号車(アイシス)	1	
	9号車(ノア)	1	
	10号車(ハイエース)	1	
	11号車(エアリィ)	1	
	12号車(ハイエース)	1,302,505	
	13号車(スペースシア)	1,268,294	
什器備品			
	看板工事(AKASUI)	1	
	シン(AKASUI)	1	
	ノートパソコン(AKASUI)	1	
	ノートパソコン(LSK)	1	
	ノートパソコン(LSK)	1	
	エアコン(LSK)	61,738	
	エアコン(AKASUI)	60,557	
	エアコン(AKASUI)	84,666	
	冷蔵庫(ピアハウス)	1	
	カーテン(AKASUI)	1	
	カーテン(ピアハウス)	1	
	カーテン(ピアハウス)	1	
	ピアハウス敷地工事(防草シート代)	1	
	植栽工事(AKASUI)	78,858	
	室内装飾品(AKASUI)	630,257	
	物置(ピアハウス)	53,970	
	木もれび太陽光発電設備	234,668	
	ピアハウス太陽光発電設備	4,000,000	
土地			
	熊谷市円光一丁目1866番1他	23,455,201	
	熊谷市今井232番2	4,028,024	
減価償却引当預金	埼玉りそな銀行 熊谷支店	8,546,578	
保証金	リサイクル保証金	44,760	
敷金	LSK事務所(富士見堂)	300,000	
	ピアハウス敷金	420,000	
固定資産合計			118,929,201
資産合計			208,736,572

Ⅱ 負債の部				
1 流動負債				
未払金	賃金等(3月分)	8,753,400		
	利用者工賃(3月分)	150,490		
	ヘルパー手当(3月分)	3,042,011		
	ヘルパー通勤費(3月分)	171,120		
	旅費交通費、通勤費(3月分)	208,699		
	ピアハウス食費精算金	53,506		
預り金	源泉所得税、住民税	327,846		
流動負債合計			12,707,072	
2 固定負債				
長期借入金	独立行政法人福祉医療機構	15,789,000		
固定負債合計			15,789,000	
負債合計				28,496,072
正味財産				180,240,500

事業別損益の内訳（別紙）

特定非営利活動法人 自立生活センター遊T0ピア

令和7年 3月31日 現在

（単位：円）

科目	生活サポート バ・マル	障害福祉サービス				管理部門	合計
		AKASUI	就労支援	LSK	ピアハウス		
I 経常収益							
1. 受取会費							
正会員受取会費						126,000	126,000
賛助会員受取会費						54,000	54,000
2. 受取寄附金							
受取寄附金		5,000		5,000		1,000	11,000
3. 受取助成金等							
受取地方公共団体助成金		195,214		381,598	29,594	98,800	705,206
4. 事業収益							
売上高	3,039,705	51,711,265	2,616,318	77,629,465	12,902,030	810,110	148,708,893
5. その他収益							
受取利息		3,179		30,645	2,899	2,866	39,589
雑収益		45,000	366,870	6,002	66,640	541,430	1,025,942
経常収益計	3,039,705	51,959,658	2,983,188	78,052,710	13,001,163	1,634,206	150,670,630
II 経常費用							
1. 事業費							
(1) 人件費							
給料手当	3,017,885	31,124,850		19,642,300	8,109,615		61,894,650
法定福利費	560,625	3,765,170		5,830,306	289,961		10,446,062
通勤費	533,620	899,850		627,745	59,540		2,120,755
福利厚生費	363,763	628,391		640,482	101,173		1,733,809
人件費計	4,475,893	36,418,261		26,740,833	8,560,289		76,195,276
(2) その他経費							
業務委託費	770,737	569,510	2,868,008	38,690,103	1,557,556	588,801	45,044,715
その他経費計	770,737	569,510	2,868,008	38,690,103	1,557,556	588,801	45,044,715
事業費計	5,246,630	36,987,771	2,868,008	65,430,936	10,117,845	588,801	121,239,991
2. 管理費							
(1) 人件費							
給料手当		3,346,250		2,748,645	2,368,154	335,320	8,798,369
法定福利費		523,980		443,064	355,738	62,292	1,385,074
人件費計		3,870,230		3,191,709	2,723,892	397,612	10,183,443
(2) その他経費							
旅費交通費	6,588	299,720		349,766		732	656,806
車両費	206,404	2,620,039		254,000	77,330		3,157,773
通信運搬具	185,739	128,966	26,220	1,317,978	138,690	20,637	1,818,230
消耗品費	14,363	737,963		251,085	418,426	1,595	1,423,432
修繕費	122,760	207,900		2,214,746	446,175	13,640	3,005,221
水道光熱費	45,690	831,310	69,283	574,130	573,734	5,076	2,099,223
地代家賃	648,000	764,270		2,814,000	840,000	72,170	5,138,440
減価償却費	797,518	3,301,081		407,089	3,612,689		8,118,377
諸会費		15,000		1,000		47,000	63,000
租税公課		79,000		215,900	450	10,500	305,850
支払手数料	27,500	53,010		44,495	169,290	199,349	493,644
新聞図書費					47,400		47,400
支払利息		23,430	300		25,115		48,845
雑費		21,420	1,500	3,300	9,000	3,400	38,620
その他経費計	2,054,562	9,083,109	97,303	8,447,489	6,358,299	374,099	26,414,861
管理費計	2,054,562	12,953,339	97,303	11,639,198	9,082,191	771,711	36,598,304
経常費用計	7,301,192	49,941,110	2,965,311	77,070,134	19,200,036	1,360,512	157,838,295
当期経常増減額	△ 4,261,487	2,018,548	17,877	982,576	△ 6,198,873	273,694	△ 7,167,665
III 経常外収益							
1. その他経常外収益							0
設備導入補助金					4,000,000		4,000,000
経常外収益計					4,000,000		4,000,000
IV 経常外費用							
1. 固定資産除・売却損							0
固定資産圧縮損					4,000,000		4,000,000
経常外費用計					4,000,000		4,000,000
合計	△ 4,261,487	2,018,548	17,877	982,576	△ 6,198,873	273,694	△ 7,167,665

令和6年度の特定非営利活動法人自立生活センター遊トピアの事業報告及び会計諸帳簿を監査した結果、適正であることを認めます。

令和7年6月11日

監査 渡辺功三 

清水貴子 

役員改選（案）

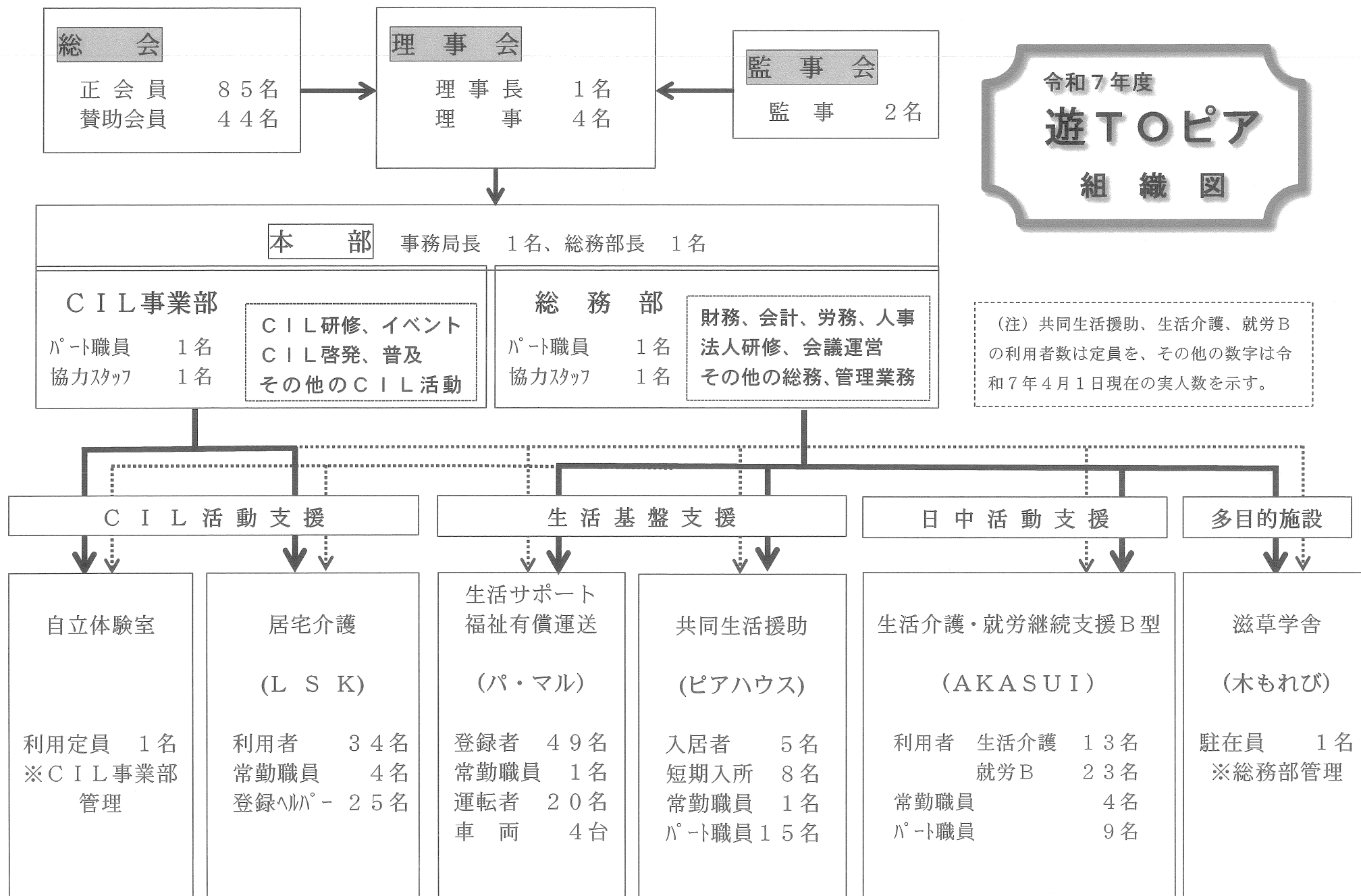
特定非営利活動法人
自立生活センター遊T〇ピア

1. 任期：令和7年7月1日～令和9年6月30日

2. 名簿

役員	氏 名	新規・再任区分
理事	高橋 美香	再任
理事	赤羽根 真由美	再任
理事	猪山 憲一	再任
理事	山田 泰子	再任
理事	栗原 祐太	新任
監事	清水 貴子	再任
監事	渡辺 功三	再任

以上、理事5名、監事2名です。



令和7年度 事業計画（案）

I 法人の運営

1. 目的及び理念

(1) 目的

「熊谷市及び周辺地域の障害者に対して、自立生活と社会参加を支援する事業を実施することにより、障害者の自立生活を普及させ、障害者と健常者が共に生きる社会を実現する。」という法人の目的を実現させるため、本年度も引き続き活動する。

(2) 理念

法人の理念は次の通り。本年度も引き続き下記理念を堅持し、理念に基づいた活動を行う。

法人はCILの理念に基づき、障害者を一人の人間としてその存在を認め、障害者がいろいろな人や事柄に関わる中で、自分で選択し、決めたことに責任を負える、人生の主体者であることを認め、尊重します。

法人は法人設立の趣旨を堅持し、法人に関わる全ての人が仲間であることを認め、障害のあるなしにかかわらず、全ての人の幸福を追求します。

私たちは、将来に亘り、障害のあるなしに関わらず、多様な人達が「一緒にいる」ことができる暮らしやすい社会を目指して行動し続け、その成果を地域に還元することにより、社会に貢献します。

2. 運営管理体制

(1) 事業及び事業所

本年度は下記により事業を実施する。

	名 称	実施又は予定事業 及び 定員	所在地	延床面積（土地面積）／備考
1	CIL事業部 総務部 L S K パ・マル	CIL事業 法人庶務、労務、経理、請求業務他 居宅介護・重度訪問介護、移動支援 障害児（者）生活サポート事業	熊谷市中西 1-1-1	149.94㎡（267.70㎡） 借家
2	AKASUI	生活介護（12名）、 就労継続支援B型（28名）	熊谷市円光 1-11-21	315.04㎡（413.82㎡） 持家
3	ピアハウス	共同生活援助（6名） 短期入所（1室）	熊谷市久保島 1680-1	201.79㎡（993.95㎡） 持家 借地
4	自立体験室	自立生活体験（1室）	熊谷市中央 1-14	46.2㎡ 借家
5	木もれび	イベント会場・研修棟 コミュニティスペース	熊谷市今井 232-2	132.49㎡（962.97㎡） 持家

(2) 諸会議等

下記により定例開催するほか、運営状況により、必要に応じて適宜開催する。

開催予定月	会議名／主な議題	開催予定月	会議名／主な議題
令和7年6月	監査会／法人の監査 理事会／運営上の諸課題、及び 事業報告、決算の承認 総会／事業報告、事業計画、 及び予算・決算の承認他	7月 10月 令和8年1月 3月	理事会／運営上の諸課題 理事会／運営上の諸課題 理事会／運営上の諸課題 理事会／運営上の諸課題、及び 事業計画、予算の承認

3. 協力者等

法人の嘱託医及び苦情解決第三者委員については、引き続き下記に協力を依頼する。

(1) 嘱託医

医療機関名	医療生協さいたま生活協同組合 熊谷生協病院
診療科	内科、消化器内科、小児科
所在地	〒360-0012 熊谷市上之3854番地

(2) 苦情解決第三者委員

武藤 さつき 氏	就労支援相談員、市民後見人
渡辺 功三 氏	元民生・児童委員

Ⅱ 現状と課題

4. 現状と課題

自立生活者が増えたことは、熊谷市で暮らす障害当事者の希望にもなり、法人の最大の目的でもあることから、障害当事者本人の意思を最大限尊重しながら、支援を行う。

介助者不足から求人の方法を模索する。

そこで本年度は、法人内でのコミュニケーションを活発化させ、人間関係のさらなる構築を行う。

法人内でのコミュニケーションが活性化されることにより、一人ひとりが楽しみながら活動を行うことに繋がり、その姿を外部へ各種イベント、SNS、ホームページなどを活用し発信していく。

また、前年度、利用者の減少により、赤字に転じた経営状態の見直しが必要である。

Ⅲ 本年度事業方針

5. 本年度重点目標

自立生活を開始した当事者の生活が円滑に進むように、相談、ILP、介助など、法人全体で協力し支援を行い、地域で暮らす当事者のエンパワーメントを行う。

また、現在生活を営む当事者が自分らしく生きることできるように、そして新たな自立生活者に備え、職員、介助者の育成及び発掘(求人)に力を注ぐ。

法人内の各事業所が、それぞれに持つ魅力を最大限活かし外部へ発信する。

その他、前年度に赤字となった経営状況を改善するため、地代や通信費を含む固定費の見直しや、施設入所者への社会参加を目的に行っている「外出サポート」の利用料の見直しを行う。

6. 総務部

諸事業を保管し、将来を見据える部門、また法人の礎としての役割を担い、遂行できるように管理部門としての機能を強化し、以下の課題に取り組む。

前年度は経営機能の強化のため、理事会を定期に開催することが出来ず、理事会と現場の齟齬を是正することができなかったため、引き続き取り組む。

また、経営状況を改善するため、固定費の見直しを図る。

(1) 物件の活用の検討

地代や賃料高騰の状況により、所有物件や賃貸借物件の活用、見直しが必要である。障害当事者が自力で通える立地を優先し中西事務所の賃貸借契約を継続しつつ、自立体験室及び木もれびの活用を検討する。

(2) フード事業

本年度も昨年に引き続き、木もれびで週1回30食程度を法人内給食として利用者及び職員に提供しながら、販売事業化について検討する。

(3) 障害者週間記念イベント

障害者週間を記念したイベントを12月6日(土)に開催する。本年度は障害者の一人暮らしに焦点を当て、本年2月より親元を離れて自立生活を開始した当事者を中心として様々な立場からの経験談や記録映像を通して、障害者の自立や意欲の促進や地域の方々への理解促進の機会として開催を予定する。

(4) 交流会

会員等の親睦を深めるため、8月、11月、2月に行う。

7. CIL事業部

CILの強みは障害当事者だからこそ、社会の中にある様々な差別や偏見に気付くことができ、その障壁に立ち向かう力を持っているということ。

その力や培ってきた経験を活かし、障害当事者の支援を行いながら地域で生きる当事者のエンパワメントや社会の意識変革に努める。

(1) 自立支援

- ・熊谷市障害者相談支援センターからの委託による社会生活力プログラムの実施
- ・自立生活希望者(2名)及び自立生活者への自立生活プログラムおよびピア・カウンセリングを実施し、現在の生活、自立に向けた支援
- ・自立生活の魅力を発信するための啓発活動および施設、特別支援学校への訪問活動
- ・ピア・カウンセリングの泊りによる講座の実施

(2) 自立体験室の活動

将来に向け介助者を入れた生活を体験してみたい当事者に対して、長期、中期、短期での貸し出しを行う。

(3)啓発活動

- ・カフェWishを2か月に1回開催する。
- ・バス会社の新人教育への当事者参画を目指し各会社へ働きかけを行う。
- ・身体障害者用に改造している車両の展示会を行う。
- ・熊谷市議会議員との交流会を年1回開催する。
- ・Instagram、X、youtube、公式LINEによる情報発信を行う。
- ・バリアフリー調査隊と連携し熊谷市内のバリアフリー情報をHP、紙ベースのMAP Wheelogを活用しより多くの障害当事者に届けるための活動を行う。
- ・青年会議所、市民活動支援センター、その他の団体と連携し販売、啓発活動を行う。

(4)当事者職員の発掘及び現当事者職員のスキルアップ

当事者職員の発掘及び現障害当事者職員のスキルアップを行う。

(5)熊谷市障害者団体連絡協議会の事務

熊谷市障害者団体連絡協議会の事務を行う。

8. パ・マル

令和7年度は自家用旅客運送更新登録にあたる年度のため手続きを行う。

前年度と同様、車両の登録台数4台での運行体制を継続するが、軽自動車(ハイゼット)の老朽化に伴い、入れ替えを検討する。また、施設入所者へ外出の機会を提供する外出サポートについては、人件費の引き上げを鑑みながら、利用料金を見直す。

(1)運行管理計画

今年度の運行計画は、下記により昨年同様に実施する。

① 運行地域 熊谷市、深谷市、鴻巣市

② 利用見込 下表のとおり

(単位)	熊谷市	深谷市	鴻巣市	合 計
登 録 人 員 (人)	52	3	4	59
利用見込人員 (人)	43	3	3	49
利用見込時間数(時間)	約900	約40	約100	約1, 040

(注)利用見込人数、利用見込時間数は、令和6年度実績から見込み数

③ 車両台数 : 4台 (内軽自動車3台)

④ 職員配置 : 安全運転管理者 1名、整備担当者 1名、運転従事者 20名

9. AKASUI

本年度も利用者の方にとって充実した生活が送れるよう日中活動、仕事、相談支援等多角的に支援を行っていく。

(1)就労継続支援B型事業

- ・現在の作業の継続(内職作業、生産作業、委託作業、印刷作業)

- ・新規事業のプレスタート(SDGSを目指す企業と協力し使用済みのパラグライダーを利用したバック、ポーチ等の生産)
- ・精神障害の利用者の増加に伴い、より専門的な支援を行う為の研修への参加

(2) 生活介護

- ・現在の作業及び各療法の継続(内職作業、整体、音楽療法等)
- ・利用者の特性に応じた作業や仕事の提供(ストレッチ、アート製品の作成、自助具の利用等)
- ・高度強度行動障害の支援の為の研修の参加

10. LSK

(1) 介助派遣

同性介助を大切に、CIL理念に基づき、介助派遣を行う。

- ・居宅介護／重度訪問介護／移動支援
- ・応援勤務(CIL事業部／AKASUI／ピアハウス／総務)

(2) 各種研修

- ・重度訪問介護従事者養成研修
- ・初任者研修(有資格者入職時)
- ・現任者研修の実施(年2～3回)
- ・感染症予防・虐待防止…ピアハウスと連携し、開催

(3) 自立生活の支援

CIL事業部と連携して、自立生活の支援を行う。

(4) 求人

チラシ配り、大学や専門学校、看護学校など訪問し、求人をを行う。人手不足は、求人情報誌の掲載だけでは補えず、積極的に動いていかなければ、対応できない。

チラシを工夫し、遊TOピアを知ってもらい、LSKでしかできない経験があることをアピールしていく。

11. ピアハウス

(1) 共同生活援助

前年度、新規入居者1名を受け入れることができた。今年度は引き続き満床に向け、現在入居希望を受けている方の話を進めていく。

余暇活動支援や季節行事を積極的に行い、入居者同士の交流の機会を増やす。

(2) 短期入所

将来グループホーム入居を希望されている方においては、実際に入居した時の日課行動を視野に入れながら、入居が実現できるようサポートを行っていく。

(3) 地域活動

地域行事に参加し、近隣住民との顔の見える関係、つながりを大切にしていく。

12. 木もれび

(1) 昨年度の状況

令和6年度は、コロナ禍のあとで木もれび利用者数の回復、増加も見込まれたが、これまで新規利用者もあり徐々に増加傾向にはあるものの、大きな利用増は見られない状況であった。

但し法人の利用については、弁当作りとして週1回の利用が定例化している他、前年度と同様の利用状況で推移しており、全体としては今後も増加傾向が続くものと思われる。

利用増に伴い、今後、多人数利用の際の冷房、極寒時の暖房等に留意し対応することが必要になるとと思われる。

また施設については、前年に引き続き、竹中氏ご夫妻の全面的なご支援ご協力を得て、運営管理に当たっている。

特に、新規利用者の利用等に伴い、予期せぬ課題や問題等が発生したことがあり、その都度竹中氏及び法人との連携により改善、解決することも多く、円滑な運営を実現できた。

(2) 本年度事業

本年度事業については、引き続き木もれびの施設としての特徴を損なわず、長所を生かしつつ、利用者や団体への適切な配慮を心掛け、下記に留意し取り組んでいく。

(3) 諸課題への適切な対応

施設の管理運営については、前年に引き続き法人との情報交換を密に、発生した課題に対し、法人と利用者双方の利益に合致するよう、適切かつ健全な運営等について確認し、対処する。また、必要があれば改善を図る。

(4) 季節ごとの施設管理への配慮

日常の掃除や衛生への配慮、設備等の点検、燃料消耗品等の把握等、施設の管理については、見通しを立てて適切に取り組む。

(5) 竹中氏ご夫妻との共同運営の継続

木もれびの運営について竹中氏ご夫妻からは、これまでも多大なご支援ご協力を得ており、本年度も継続して適切な共同運営を続けていく。

(6) その他

① 覚書等に基づく一般利用の促進

竹中氏との覚書や運営の規約等に基づき、一般利用者からの利用に対応するため、利用団体等の要望に対し可能な便宜を図り、利用を促進するよう努める。

② 法人事業所利用への支援と協力

本年度も利用が増加すると思われる法人の利用には、適切な支援と協力を行なう。

③ 必要な対策の設定

木もれびの運営は、竹中氏との覚書を基本として実施しているが、必要があれば適切な管理ができるよう新たな対策等について協議し、実施する。

令和7年度活動予算書(案)

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人自立生活センター遊TOピア

科 目		金 額		
I. 経常収益の部				
1. 受 取 会 費	受 取 会 費	140,000		
	賛 助 会 員 受 取 会 費	40,000	180,000	
2. 受 取 寄 附 金	受 取 寄 附 金	10,000	10,000	
3. 受 取 助 成 金 等	受 取 地 方 公 共 団 体 助 成 金	1,500,000	1,500,000	
4. 事 業 収 入	売 上 高	150,940,000	150,940,000	
5. そ の 他 収 益	受 取 利 息	9,000		
	経 常 収 益 計	1,209,000	1,209,000	
II. 経常費用の部				
1. 事 業 費	(1) 人件費			
	給 料 手 当	66,000,000		
	法 定 福 利 費	9,580,000		
	通 勤 費	2,150,000		
	福 利 厚 生 費	1,630,000		
	人 件 費 計	79,360,000		
	(2) その他経費			
	業 務 委 託 費	41,553,000		
	そ の 他 経 費 計	41,553,000		
	事業費計		120,913,000	
2. 管 理 費	(1) 人件費			
	給 料 手 当	5,500,000		
	法 定 福 利 費	820,000		
	通 勤 費	310,000		
	人 件 費 計	6,630,000		
	(2) その他経費			
	旅 費 交 通 費	480,000		
	車 両 費	3,500,000		
	通 信 運 搬 費	1,880,000		
	消 耗 品 費	1,600,000		
	修 繕 費	3,200,000		
	水 道 光 熱 費	2,050,000		
	地 代 家 賃	5,094,000		
	減 価 償 却 費	6,720,000		
	諸 会 費	69,000		
	租 税 公 課	260,000		
	支 払 手 数 料	640,000		
	支 払 利 息	305,000		
	経 常 費 用 計	25,798,000		
	管理費計		32,428,000	
3. 予 備 費	予 備 費 計	400,000		
	経 常 費 用 計		400,000	
当 期 正 味 財 産 増 減 額				153,839,000
前 期 繰 越 財 産 額				153,741,000
次 期 繰 越 正 味 財 産 額				98,000
				180,240,500
				180,338,500